

大会名：2017 喜多方サッカーフェスティバル

日 時：平成29年7月29日～30日

会 場：押切川公園スポーツ広場

初日帯同：佐藤

報 告：佐藤

初日予選リーグ結果

喜多方南部戦 6-0 ○

エスペランサ戦 8-0 ○

2017 喜多方サッカーフェスティバルの初日の報告いたします。

まず、冬の蔵のまちフットサル大会に毎年お世話になっております喜多方サッカー協会の皆様に、今回の大会に声をかけていただきましたこと、感謝申し上げます。ありがとうございます。

今回の大会は、6月からの大会や先週の七ツ森での合宿を経て、どのような試合ができるのか非常に楽しみに迎えました。

試合前・試合中に、選手たちに、以下の点を伝えました。

○相手チームに走り負けないこと。逃げないこと。

相手からボールを積極的に奪いにいく。相手にボールを奪われたら、奪いかえす。ゴールを目指していくこと。など。

○ただ蹴るだけのプレーをしないこと。

自分たちのボールをしっかり繋いでゴールを目指すこと。来たボールを適当に蹴って相手に渡さないようにすること。自陣でのボールをサイドに蹴ってしまわないこと。など。

○積極的にシュートを打つこと。

合宿などでは、シュート練習やサイドからのシュート練習などを多く行いました。実際の試合でシュートを打ってゴールを目指して欲しいと思いました。

2試合を振り返りますと、雨でぬかるんだ芝のグラウンドの中、蒸し暑さの中、最後まで走り切っていたと思います。

感想

○相手チームに合わせるようなプレーが多くみられました。また、空いているスペースから攻撃することが不足していました。自分たちのプレースピードで相手チームの隙を突くことを増やしていきたいですね。

○シュートまでいく回数が増やすことができていました。今までの大会、試合も見えますが、より攻撃的になり、形はどうあれシュートまでいくことが多くなり、狙い通りのゴールも多く見られたと思います。これからもさらにゴールを目指して、さらに精度をあげるため、練習あるのみ。

○ぬかるんでいたグラウンドのなかで、ムダ蹴りは少なかったです。ただ悪条件もあり、キックの強弱、コントロールなどまだまだ正確性に欠けていました。そのような中でも、基礎的なことができている選手は条件に関係なくできていたと思います。普段の練習、自主練習などで基礎的なことができるように意識していきましょう。リフティングなどがその最たるものだと思います。

これからも引き続き大会が行われます。色々な特徴のあるチームとの対戦がありますが、どのようなチームとの対戦でも最後までゴールを目指すプレーをしてもらいたいと思います。そして、ゴールを奪うために練習に取り組んでいきましょう。

最後に、朝早くからそして暑い中に応援していただきましたご父兄の皆様ありがとうございました。これからも暖かく見守っていただくようお願いいたします。

また、この大会を開催されました喜多方サッカー協会の皆様、天候で荒れたグラウンドの水はきやグラウンド整備をされていて、とても良い大会・試合を行うことができました。ありがとうございました。今後どうぞよろしく願いいたします。

コーチ：佐藤